

文理融合で学ぶ

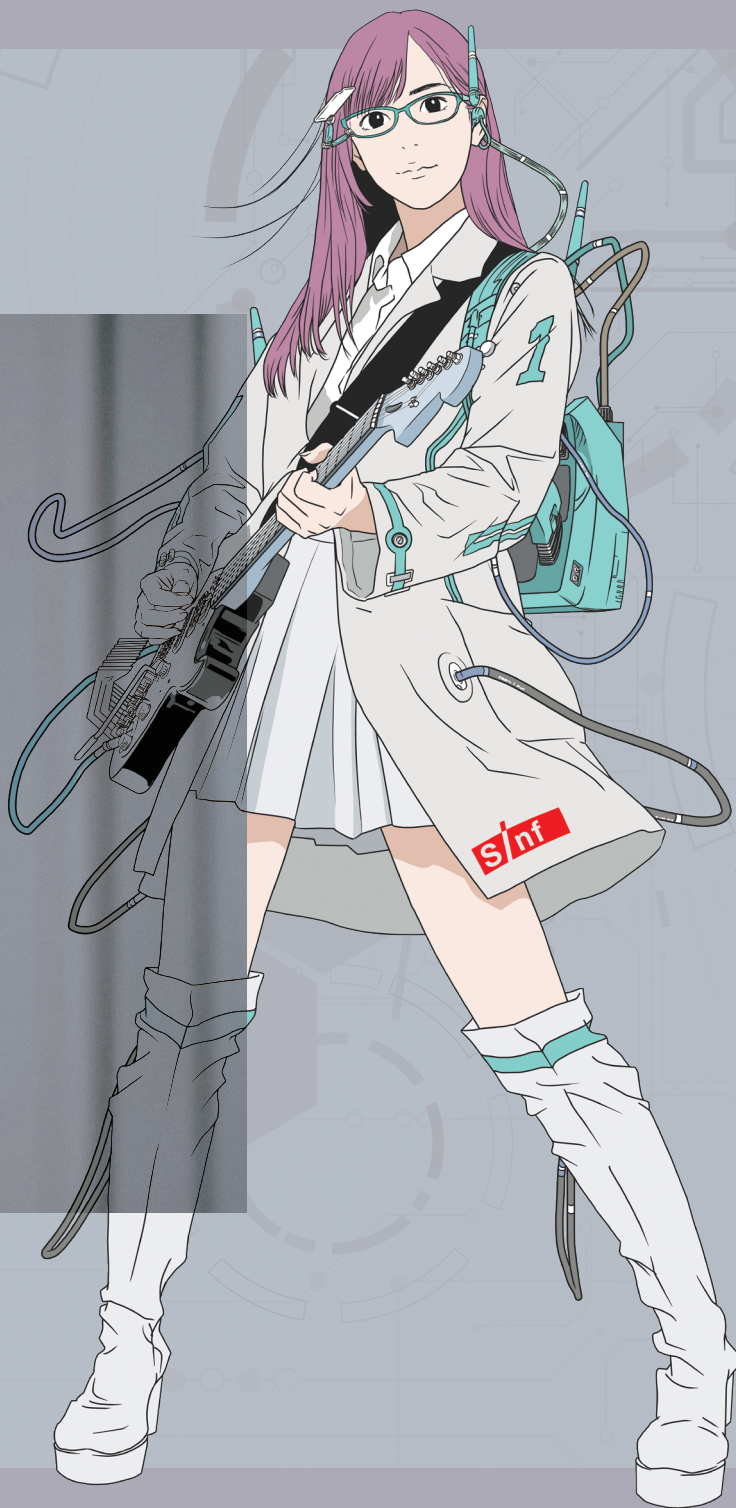
情報融合学環



DATA SCIENCE

講義室 2-3
Lecture Room 2-3

School of Informatics



What's your future?

常識にとらわれない多角的な視点を養いたい

文理融合の視点からデータサイエンスを学ぶことは、これからの社会で幅広い分野に必要とされる力になると思います。学環を志望しました。今は地域の現実的な課題の解決に取り組むPBL演習に魅力を感じています。学環独自の留学プログラムにも参加して異なる文化や価値観の中で学び、常識にとらわれない多角的な視点で物事をとらえる力を養いたいです。

2026年入学
熊本県出身

#01



Contents

- | | | | |
|----|----------------------------------|----|----------------|
| 01 | データで見る情報融合学環 | 17 | 想定進路 |
| 02 | 学環長挨拶 | 18 | コース選択 |
| 03 | アドミッション・ポリシー | 20 | カリキュラム |
| 04 | データサイエンスで変わる未来 | 22 | 授業紹介 |
| 06 | Welcome to School of Informatics | 26 | サポート体制 |
| 08 | What's your future? | 28 | 企業等からのメッセージ |
| 13 | 研修合宿 | 30 | 入試情報 |
| 14 | 留学プログラム | 32 | 教員紹介 |
| 16 | 情報融合学環と工学部の違い | 35 | よくある質問／アクセスマップ |

Data

出願があった都道府県

2026年度
入学者数：**64**人



熊本・福岡
出身者の割合 : 約 **61%**

九州出身者の割合 : 約 **95%**

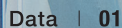
※私費外国人留学生選抜 出願者数5名(中国・バングラディッシュ・ロシア)

文系・理系の出願割合

※出願時に選択する選抜区分における文系・理系



出願者の割合はほぼ半々



学環長挨拶 | Greeting



SHIROMOTO
Keisuke

情報融合学環長
城本 啓介 教授

文理融合、実践的教育、学内連携、地域連携、大学間連携によりDX、数理・データサイエンス人材を育成します。

データサイエンスは、データを様々な手法を用いて分析し、データの裏に潜む法則性や解決すべき課題を導き出す学問であり、医療、教育、経済、工学など様々な分野の質を向上させる可能性を持っています。21世紀の石油と呼ばれる“データ”を駆使して、様々な価値を創出するデータサイエンティストへの注目は益々高くなっています。

この情報融合学環では、入学定員60名という少人数制による高度な専門教育を行い、文系・理系の境界、学問分野を越えた文理融合型の学びを実現することで、数理・データサイエンス・AIの基礎知識を有し、それらを駆使してイノベーションを創出し国際社会で活躍できる人材を育成します。



熊本大学情報融合学環のロゴマークは、英語名称「School of Informatics」の略称「SInf」をデザイン化したものです。斜線(/)は「I」：Informaticsを表現し、既存の枠組みを突破してInnovationを創出する情報科学の変革力を象徴しています。AI・半導体・ビッグデータが紡ぐ新時代を牽引する次世代イノベーターを育成します。鮮烈な赤は探究心への情熱を表現し、世界を変革する技術への果てなき夢を込めました。このロゴマークは、デジタル社会の先端で躍動し、人類の課題を解決する未来リーダーの無限の可能性を表現しています。



文理融合で学ぶ

● 情報融合学環の特色

データサイエンスの応用領域は自然科学のみならず、人文社会分野にも幅広く関連してくることから、文理融合型の視点が必要とされます。理系・文系を問わず、グローバルな視野をもつデータサイエンティストや技術者、研究者を目指す人材を求めています。

取得学位

● **学士（情報学）**
Bachelor of Informatics

入学定員

● **60名**

01

人間の幸福や人間と環境の融和に対して問題意識を持ち、新時代のデータ駆動型イノベーションの創造に強い意欲を持つ人

02

国際的な視野と優れた表現力やコミュニケーション能力を身に付け、リーダーシップと行動力を発揮するデータサイエンティストや技術者、研究者を目指す人

03

課題に対して問題点を明確にし、計画的に問題解決を目指すことができる人

04

文理を問わず幅広い教養の上に数理・データサイエンス・AIの専門知識を身に付け、それらの実社会への応用に興味を持ち、総合的な視点から広く社会に貢献しようと考えている人

05

高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で数学と英語の科目において特に優れた力を有する人



データサイエンスで変わる未来 | Data Science

朝、スマートフォンのアラームで目覚めます。健康管理アプリでチェックしつつ朝ご飯を食べたら、天気予報を確認して身支度を整えます。遠出のためネットで乗換や渋滞情報を調べていると、寝る前に見ていたブランドの広告が出てきました。外出前にはお掃除ロボットを忘れずにセットしておきます。

上の文章の中で、データサイエンスはどのように活用されているでしょうか。

データサイエンスは今や、それ抜きに日常生活を送ることは考えられないほど身近で、欠かせない学問となっています。そしてこの先の未来で、私たちにどのような変化をもたらすのでしょうか。



患者の病歴、検査結果、治療結果など大量の医療データを収集・分析することにより、病気の予測、早期発見、最適な治療の選択、医療リソースの効率的な活用につながります。医療現場だけでなく、新たな治療法や新薬の開発にも活用されます。

Data
Science

スポーツ Sports

試合の動画や選手のパフォーマンス、成績などのデータは、試合の戦術分析、選手の育成・トレーニングメニューの計画、コンディション調整や怪我防止などに活かされています。データの見せ方を工夫することで、ファンに新しい楽しみ方を提供することもできます。

Data
Science

半導体 Semiconductor

半導体製造工程は複雑で、高い精度とスピードも要求されるため、手作業や目視での製造・品質管理は不可能です。製造の効率化や高品質な半導体製造のためには、画像処理や機械学習を用いたアルゴリズムの活用が不可欠です。

Data
Science

農業 Agriculture

家畜の成育管理、ハウスの温度管理など様々な部分でAIが導入されており、従事者の負担解消などが既に行われています。これからもAIを活用した効率化が求められています。

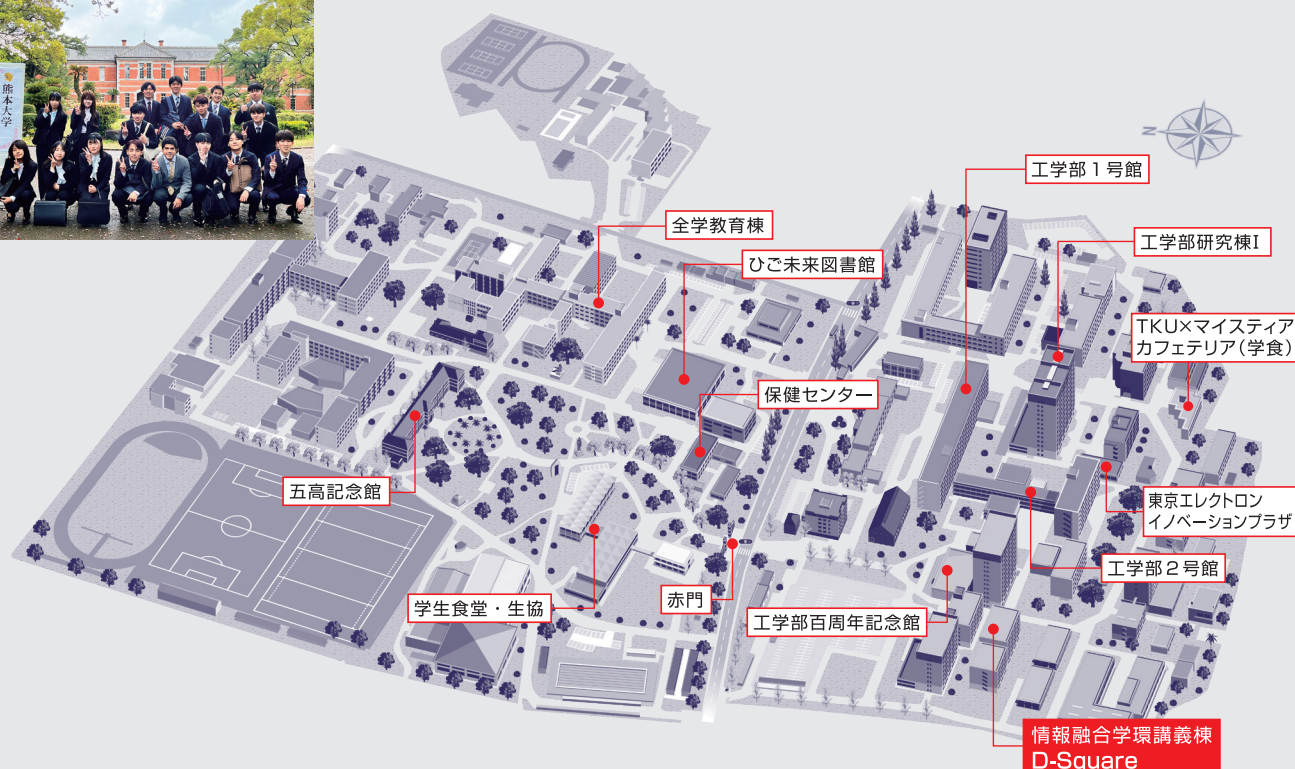


Welcome to School of Informatics

Welcome!



入部式を終えた情報融合学環の三期生64名は、4つのグループに分かれて、大学構内を巡るキャンパスツアーに参加しました。案内役は先輩の2年生。熊本大学黒髪地区は、国道57号を挟んで北地区と南地区に分かれていて、その中には国指定重要文化財である赤門や五高記念館などがあります。新入生たちは、これからの大学生活を過ごす学内を駆け足で一周しました。



D-Square 紹介 | D-Square

Open Lab 4F 5F 6F

各研究室の壁をなくすことで、様々な研究分野の大学院生・学部生の交流が深まり、共同研究・融合研究が促進され、新たな研究を生み出す原動力になっています。フロア毎に機能を分離するなど工夫がいっぱいです。（ディスカッションエリア、発表エリア、学習集中エリア等）



壁一面ホワイトボードで活発的な話し合いが可能です。



作業スペース



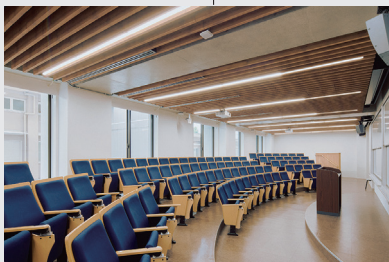
談話スペース

演習室 3F

演習室には、外部機関との連携により各学年でPBL科目を実施するため、グループワークや実習に取り組みやすい机やイスを配置。ラウンジ等の休憩スペースも用意し、学生が勉強に集中しやすい環境です。



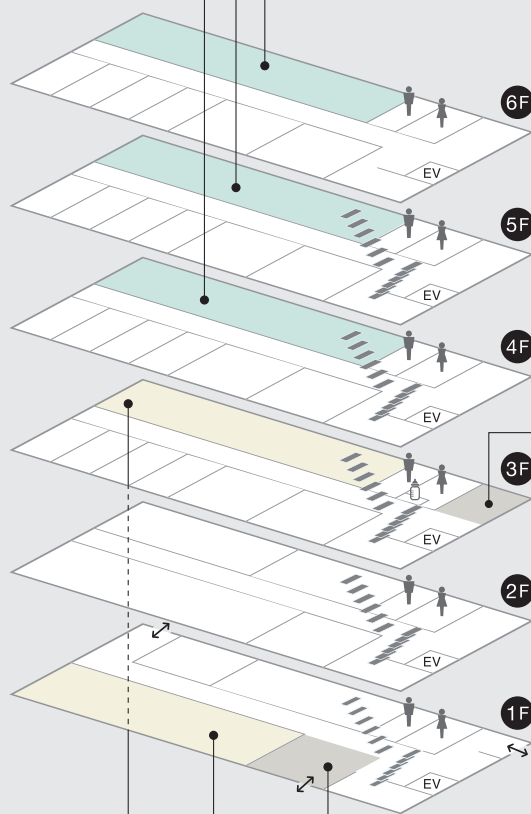
〔3F〕演習室



〔1F〕講義室



情報融合学環講義棟 D-Square



〔3F〕祈禱スペース
外国人留学生に配慮したスペース



女性用トイレ内のメイクスペースは学生にも好評。また、生理用ナプキンを無料で使用できるOiTr機器も導入しています。



〔1F〕交流ラウンジはカフェのような雰囲気

What's your future?

情報融合学環の学生たちは、文理融合の多様な学問分野に触れながら、将来の自分と社会に向けて一歩ずつ歩んでいます。その学生たちに10年後のビジョンやコース選択、大学生活の様子をインタビューしました。新たな学びの場、期待される分野でどのような挑戦をしているのでしょうか。



My future

#02

2026年入学
宮崎県出身

データサイエンス(DS)と半導体分野に興味があり、夏休みの留学プログラムに参加して現地の学生との交流を通して視野を広げたい、そんな思いから本学環を志望しました。また企業訪問の際、DSや情報技術が実際のビジネスの現場でどのように活用されているのかを見学し、多様な価値観を理解する力も身につけたいです。

将来はここで学んだ知識を活かし、遺伝子情報の管理や分析に関わる仕事に携わりたいです。祖父が薬剤師で、以前から薬の効果や副作用に関心があり、「個別化医療」に興味を持ちました。一人ひとりに合った薬や治療法など、半導体によるデータ処理技術を通して多くの情報を正確に扱えること。また、海外の技術者と協働しながら課題解決に取り組み、医療を裏側から支える技術者として社会に貢献することが目標です。

私は苦手科目の克服に時間がかかったので、高校生の皆さんには共通テスト対策は早めに取りかかることをおすすめします。熊大は自然に恵まれ静かで、勉強に適した環境ですよ。

学環生へのアンケートから

Q1 「情報融合学環」ってどんなところ？

- 予想していたよりも**女子が多い**(64人中19人)
- 基本的には理系かと思っていたが**文系**の学生も多い
- 合宿やランチセミナーなど**独自のイベント**が充実
- とにかく**いろんな人**がいて面白い、そして**刺激的!**

Q2 熊本(熊大)の印象は？

- キャンパスに**自然がいっぱい**で癒される
- 熊本は意外と**都会!**しかも大学は街の中心部に近い
- D-Squareの**全てに感動**。かなり自慢できる!
- ひとり暮らしでもミールカードの活用で**食生活もOK**



誰もが適切な情報に辿り着ける社会
それを可能にするのが
データサイエンス

熊大は、九州の中でもキャンパスが街中に近いイメージがあり、住みやすそうな気がしていました。特に情報融合学環は、D-Squareも新しくて綺麗で、まさに最高の環境です。

将来はデータサイエンティストとして、希少疾患の患者と家族を支える情報共有基盤の構築に携わりたいと思っています。私は子どもの頃、足に症例の少ない稀な疾患を患いましたが、親が必要な情報を得られなかったという苦い経験があります。そこで、多くの患者同士がAIを利用して情報を共有したり、情報の透明性とプライバシー保護の両立という課題を解決できないかと考えています。そのために本学環での学びを最大限に活かし、誰もが適切な情報に辿り着ける社会の実現に貢献したいと考えています。

私は文系で、高校で数Ⅲをやっていなかったのですが、実は数学が好きで今は数Ⅲを勉強できて内心嬉しいです。大学入試は理系、文系にかかわらず、英語は「受験の生命線」と言えます。そして、得意科目の存在は気持ちに余裕が生まれるので有利です。

My future

#03

2026年入学
大分県出身

Q3 ちょっと心配（でも大丈夫）なことは？

- 文系の私はこの先ついていけるのか？ 数学が不安
- 数Ⅲのフォローアップでなんとかカバーできそう
- 不安だった講義も工夫があって先生方も熱心！
- 英語は必須！（ネイティブの英語に耳が慣れてきた）

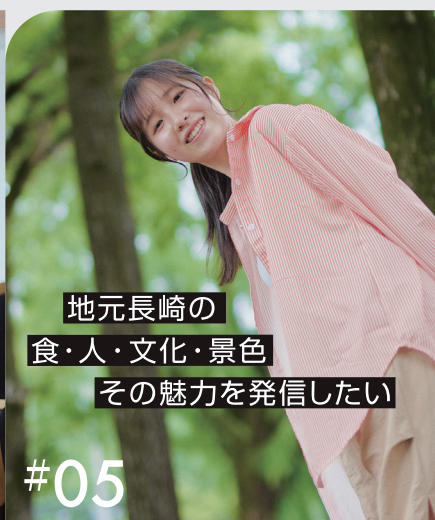
Q4 入試や大学入学後に役立つことは？

- 高2の夏までには志望校を固め受験勉強を本格的にスタート！
- とにかく数Ⅲと英語（会話も重要）を徹底的にやること
- 英語の二次試験対策は早めにとりかかろう
- 課題研究を文章に分かりやすくまとめる経験は入試に◎

学環生、それぞれの夢のカタチ



熊本県出身



長崎県出身



福岡県出身



鹿児島県出身



佐賀県出身



熊本県出身



熊本県出身

What's your future?



惹かれたのは新しい価値を創出する
「インベーション」のプロセス

#11

DS総合コース

My future

2024年入学
熊本県出身

熱心な教授陣や友人にも恵まれて、あっという間の2年間でした。将来は、データサイエンスを軸として、医療分野で医者をサポートできるような立場になりたいです。今は複雑な社会課題に対して実践的なアプローチができるようになりたいと考え、大学院進学を目指しています。卒業後は、日本国内に留まらずグローバルに活躍できるデータサイエンティストとして、世界をより良くする新たな仕組みづくりに貢献したいです。



#12

病床の祖母を見守る
IoT技術に魅せられて

DS半導体コース

My future

2024年入学
熊本県出身

同居している祖母が入院している時、IoT (Internet of Things) によるカメラを使いスマホで病床での様子を見ることができ、介護に役立つことを知り興味を持ちました。将来は誰もが恩恵を受けられるIoTデバイスを使った商品開発をやってみたいと思っています。3年になって実験が始まると、マイコンを自分の手で動かすことが楽しくて、目標を実現するためにも意欲的に取り組んでいきたいです。



#13

既存のワクにとらわれない
自分らしいスタイルを
見つける！

DS総合コース

My future

2024年入学
熊本県出身

中1でLAに1週間、高2でオーストラリア、高3でモンタナ、入学後もテキサスとミシガンに短期留学しました。これらの留学を通して国際関係に関心を深める一方で、以前から教育分野にも興味があったので、多角的な視点を持ちたいと考え幅広い分野を学べるDS総合コースを選びました。卒業後は、観光業や貿易業などでの活躍も視野に入れています。まだはっきりとは定まっていません。情報融合学環について言えることは、既存の枠にとらわれず、自分らしいスタイルを見つけることができる場所です。



DS総合コース

2024年入学
熊本県出身

Q1. DS総合コースを選択した理由を教えてください

A1. 地元の金融機関に就職し、地域に貢献したいと考えています。DS総合コースでは、企業の方々から直接話を聞く貴重な機会があり、実際のデータを用いて分析や課題解決に取り組める点に大きな魅力を感じています。さらに選択科目や自由選択の枠が多く、データ分析のスキルに加え教育や経済、農業についても深く学ぶことができます。今は大学院への進学も前向きに検討しながら、何よりも社会で活躍できる経験値を高めたいです。

Q2. プライベートは充実していますか？

A2. 中学生の頃は世界遺産崎津集落のボランティアガイドとして、観光客の案内をしていました。大学では、K・POPのダンスサークルで活動しています。英語に苦手意識があったこともあって、バイトはホテルのフロントスタッフに。主に海外のお客様対応なので英語はかなり上達したと思います。中国、台湾に加えて最近はシンガポールからも増えています。お客様の目を見て接客することを心がけ、中国語はスマホの翻訳機能をフル活用しています。



DS半導体コース

2024年入学
熊本県出身

Q1.DS半導体コースを選択した理由を教えてください

A1. 元々文理融合の学部を志望していたところ、熊大に新しく本学環ができたので、「これはチャンスだ!」と思い入学しました。高校時代には全くお目にかからなかった新しいプログラミング言語などに接し、授業ではかなり苦労しました。3年からは、DS総合コースの内容に、ハードウェアの根幹である半導体を専門領域に加えることで、将来のキャリアにおける選択肢を最大限に広げたいと思っています。卒業後は、大学で得た「データ分析力」と「技術への理解」という二つの武器を携え、グローバルな視点で社会の発展に貢献できるエンジニアやスペシャリストを目指して、世界を舞台に活躍したいと考えています。

Q2. 大学生活も3年目、今の感想は？

A2. 小学校から始めた野球を大学でも硬式野球部に入り続けています。昨年留学先のアメリカでも現地の選手とプレーしましたが、そのパワーには圧倒されました。大学の授業はグループワークや実習など学生が主体的に参加する内容が多く、仲間と切磋琢磨しながら刺激的な毎日です。

研修合宿 | Orientation

オリエンテーション合宿

● キャンパスを離れて親睦を深める

情報融合学環では1年次を対象に、学生相互の友好・情報交換や教職員との親睦、学習意欲向上の一助とすることを目的に、研修合宿を実施します。2026年度は1泊2日の日程で開催しました。キャンパスを離れ、普段とは異なる環境での経験によって、学生同士の親睦に留まらず、引率の教職員や上級生との関係も深まり、今後の学生生活がより豊かになることを期待しています。



当日は1年次の学環生だけでなく、教職員や引率の2、3年次学環生を含めてグループを作り、行動を共にしました。湯布院・金鱗湖での散策、宿泊先でのグループワークや野外での食事などを通して大いに交流を深めました。時間が足りないという感想も聞かれるほど、有意義な時間を過ごせたようです。



留学プログラム

Study Abroad



学環独自の短期留学

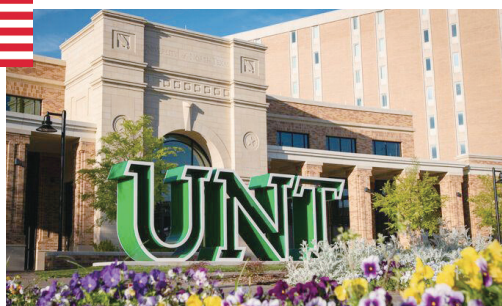
● 夏休みを利用したプログラム

情報融合学環では、熊本大学の留学制度とは別に、独自の短期プログラムを用意しています。2025年度は夏休み期間を利用して、アメリカ合衆国・ノーステキサス大学(約4週間の語学研修+企業訪問・文化体験プログラム)のプログラムと、台湾師範大学(約2週間のAI・半導体関連授業と文化・語学研修プログラム)のプログラムを実施しました。なお、日本学生支援機構の海外留学支援制度による奨学金制度や、一定の家計基準を満たす学生には渡航支援金があります。

熊本大学では、夏休みや春休みを利用する短期プログラムの他、半年から1年留学する交換留学制度も用意しています。イギリスやアメリカ、オーストラリア、ドイツなどの欧米諸国に加え、台湾や韓国、インドネシアなども多数の選択肢があります。



The United States of America



留学先

アメリカ合衆国

The United States of America

ノーステキサス大学

University of North Texas,
Intensive English Language Institute

期 間

4週間 2025年8月16日(土)～ 9月13日(土)

参加者

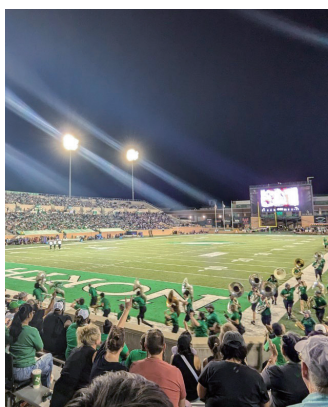
2026年度：8名(予定)

2025年度：9名 2024年度：16人

英語力向上と異文化交流に重点を置いたプログラムです。午前中は事前に分けられたクラスで英語コミュニケーションとライティングの授業を受けます。ディスカッションやエッセイを書くような実践的内容に加えて、新しい単語の確認、発音練習、シャドーイングなど、基礎固めも万全です。午後は企業訪問と文化体験が主で、Broadcom・TOYOTAの企業説明・工場見学や、大学のアメリカンフットボールチームの試合観戦も設けられています。プログラム以外にも、地元の博物館、出張庭園やアジア系マーケットに出かけるなど、学生の自主性に応じて様々な経験ができます。

午前中は各自のレベルに応じたクラスでの英語研修を、午後は企業見学や各国の留学生との交流などに取り組みました。休日各自で観光したり、現地で親しくなった友人と外出したり、充実した日々を過ごしたようです。

ノーステキサス大学からは、学環の学びに繋がるような半導体企業の見学・講義を手配してもらうなど、様々なサポートを受けています。さらに、異国の地での学び・生活をサポートするため、学環の教員も帯同しました。



将来自分が就職する企業等への関心につながった

初めての海外だったが他の学環生と一緒にだったので安心できた

海外でしかできない経験にワクワクがとまらない

グローバルな考え方に会えることができた

この留学で自信が生まれ自分の成長を感じた



留学先 台湾
Taiwan

国立台湾師範大学
National Taiwan Normal University

期 間 2週間 2025年8月9日(土)～8月24日(日)

参加者 2026年度：9名(予定)
2025年度：19名

中国語の学修や半導体に関する基礎的な知識から始まり、半導体デバイスや集積回路の設計などの工学的な内容にも踏み込みます。さらに、AIとIoTを組み合わせた技術であるAIoTに関する理論と実践についても理解を深めることが目標です。

座学や演習が豊富なだけでなく、現地半導体関連企業の見学や観光の時間も設けられ、モチベーション向上や異文化理解にも繋がるプログラムです。



熊本県立大学の学生や台湾師範大学の学生と一緒に台湾の文化体験を始め、中国語入門、AI・半導体関係の講義を受講し、世界的な半導体企業であるTSMCの見学など様々なプログラムを実施しました。最終日には、プログラムで学んだことをグループ毎に英語で発表し、本プログラムを締めくくりました。参加した学生からも、台湾師範大学の学生と英語でコミュニケーションを取ることを心がけ語学力が鍛えられたといった意見や、専門的な知識を修得できたなど、ポジティブな意見が聞かれました。

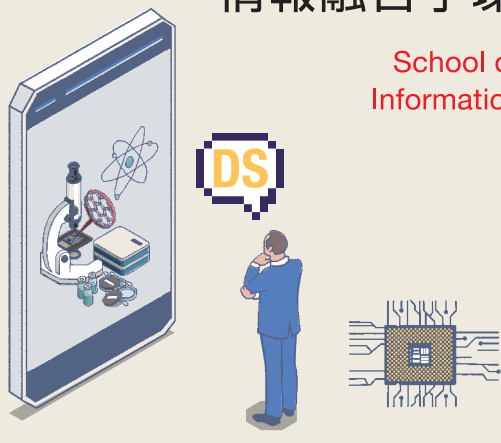


What's the Difference



情報融合学環

School of
Informatics



DS 総合コース

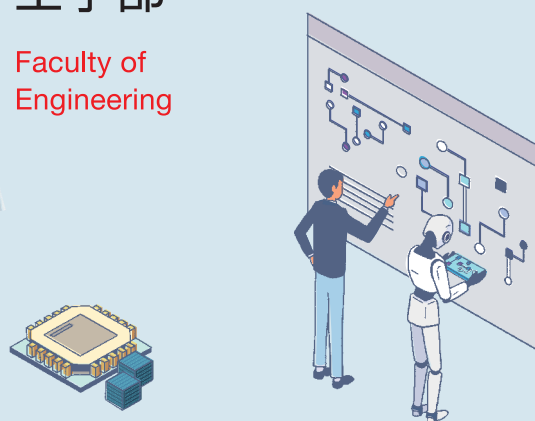
データサイエンスを基盤に、科学やビジネスなど社会の幅広いDX課題を解決できる人材を育成する。

DS 半導体コース

データサイエンスを基盤に、半導体製造プロセスを中心とした製造DX課題を解決できる人材を育成する。

工学部

Faculty of
Engineering



半導体デバイス工学課程

半導体教育に特化した学士課程で、半導体工学及びデバイス製造工程に関わる高度な専門性を持つ人材を育成する。

情報電気工学科

情報・電気・電子の3つの教育プログラムから構成され、高度情報化社会の実現に貢献する人材を育成する。



DS 総合コース

Data Science General course

人工知能、ビッグデータ分析、情報処理、統計学を含むデータサイエンスについて文理融合型のカリキュラムで総合的に学び、社会の幅広いDX課題を解決し未来へと導く人材へ

- 金融機関
- 情報通信業 (IT 企業)
- スポーツ
- 製造業
- 流通・サービス
- コンサルティング
- 教育関連業
- 地方・国家公務員
- 学校教員

取得可能資格 中学校教諭一種免許状 (数学)、
高等学校教諭一種免許状 (数学 / 情報)



合同会社 Asmirai
口木裕太郎 さん

2025 年度修了 / 大学院自然科学教育部
博士前期課程情報電気工学専攻

日々進化している AI 技術 データサイエンスの知識は普遍的な武器!

在学中はデータサイエンス、機械学習を中心に学び、合同会社 Asmirai (熊本大学発ベンチャー) を立ち上げました。現在は AI モデル開発や時系列データ分析を中心に取り組んでいます。大学で培ったプログラミング力や統計的な考え方はもちろん、課題を整理し仮説を立てて検証する力が実際の業務で大きく役立っています。AI 技術は日々進化していますが、基礎となるデータサイエンスの知識は普遍的な武器になります。大学での学びが現在の事業運営や技術開発の土台となっています。

DS 半導体コース

Data Science Semiconductor course

基礎となるデータサイエンスに加え、社会で通用する半導体の知識を専門的かつ実践的に学び、半導体を含む製造DX課題に向き合いデジタル産業をけん引する人材へ

- 半導体関連企業をはじめとする製造業
- 情報通信業 (IT 企業)
- 流通・サービス
- 地方・国家公務員
- 学校教員

取得可能資格 中学校教諭一種免許状 (数学)、
高等学校教諭一種免許状 (数学 / 情報)



東京エレクトロン九州株式会社
高橋真緒 さん

2025 年度修了
大学院自然科学教育部
博士前期課程機械数理工学専攻

理論を深く考え抜く経験が、 新たな課題への挑戦につながる

研究活動を通して、複雑な問題を論理的に整理し、本質を捉えて考える力が身につきました。また、思うような結果が得られない場面でも粘り強く挑戦し続ける姿勢を養うことができました。大学での学びと経験は、これからの私の人生を支える大きな財産になっています。大学で培った「考え抜く力」を大切にしながら、これからもさまざまな課題解決に挑戦していきたいと思っています。

進学

- 熊本大学
 - 自然科学教育部 半導体・情報数理専攻
 - 医学教育部
 - 社会文化科学教育部
- 他大学院 など



学環生の約60%は大学院へ
進学するみたいだけど、どうする?

できれば進学でしょ! まずは
早めに TOEIC 520 点クリア!



コース選択 | Course Selection

情報融合学環で1年間学んだ学生は、将来を見据えてコース選択をしています。
「DS総合コース」と「DS半導体コース」、自ら選んだコースで学びを深めている
学生たちに、コース選択の理由や将来について聞いてみました。



#16

DS総合コース

2025年入学
長崎県出身

Q1. DS総合コースを選択した理由を教えてください

A1. 本学環で学んだ機械学習や統計学などのスキルを用いて、農業の人手不足問題を解決したいと思ったからです。若者の農業不人気の理由である「低所得・重労働・不安定」などの問題を軽減するため、シンギュラリティ(AIが人間の知能を超える転換期)を防ぎつつ、AIと人間のそれぞれの良さをバランス良く最大限発揮できるようなビジネスを起業したいです。ただ、AIが一線を越えてしまう危険性も感じています。最近は統計学に興味を持ち始め、データを分析したいという興味も湧いてきました。

Q2. 大学生活を送ってみての感想は?

A2. 授業は難しいですが、質問できる環境(フォローアップやDS基盤数学演習など)が充実していて、結果的に良い成績をとることができました。友達と九州・沖縄に旅行したり、居酒屋でのバイトやサークル活動も充実しています。今のところ授業もしっかりついていけているので、メリハリのある楽しい大学生活を送っています。何よりD-Squareの環境が最高です!



#17

DS半導体コース

2025年入学
佐賀県出身

Q1. DS半導体コースを選択した理由を教えてください

A1. 高校時代、塾の講師に「熊本は今、半導体が熱いよ!」と言われ、志望しました。そして半導体関連の専門知識を身に付け、日本の未来を背負って立つ人材になるためにこのコースを選択しました。AIを用いて様々なサービスや仕組みの効率化に尽力していきたいと考えています。

Q2. 大学生活を送ってみての感想は?

A2. 高校とは違い、授業は4~5人のグループワークが多く新鮮です。自分とは違う角度からものを見る人や自分より知識を持っている人と接することで刺激を受けています。90分間の授業が最初は長く感じたのですが、今では慣れてきて集中して授業を受けることができるようになってきました。サークルは、中学から始めた陸上長距離を続けています。熊本で1年間暮らしてみて、渋滞がひどく公共交通機関もバス中心で、移動するのに困っている人も多く見かけます。将来は、データ分析で交通の便を良くする仕組みを開発したいと考えています。また、道路の改良にも役立てたいと思います。

What's your future?



2度の留学を経て
視野が世界へ広がった！



DS半導体コース

2024年入学
熊本県出身

Q1. この2年間で将来の進路に変化はありましたか？

A1. 地元阿蘇で公務員として貢献したいと思っていましたが、2度の短期留学（アメリカ・台湾）を経験して視野が広がりました。国によって色々な人がいることを肌で感じ、留学先のダラスではケネディ大統領の暗殺現場も見学しました。1か月間でしたが、リスニングはかなり上達したと思います。土日は、阿蘇のホテルでアルバイトをしているので、外国人の方々と接する機会がありますが、私の場合は英会話よりも笑顔とジェスチャーでコミュニケーションを取っています。

Q2. 情報融合学環を志望する高校生にキャッチフレーズを！

A2. きっとどこよりも「新しい！楽しい！面白い！」とアピールしたいです。特にD-Squareの1階にある交流ラウンジで友人たちと過ごす時間は、最高に幸せです。学習面では、英語と数学がとにかく大事ですね。この2教科は、受験が終わっても安心せずに、もっと勉強を続けておけばよかったと反省しています。高3の頃は、本当にきついことの方が多かったけれど、そのおかげで今があるのだと思います。受験生の皆さん、最後まで頑張ってください！



Dreams come true!
夢はきっとかいます！



DS半導体コース

2024年入学
熊本県出身

Q1. 大学生活も3年目、今の感想は？

A1. 職場体験で実際に企業の方の話を聞くなど、高校時代にはできないような体験をした貴重な2年間でした。テキサスに留学しましたが、受験英語が通用しないことが分かり、外国の方とコミュニケーションをとることの難しさとともに楽しさも感じました。帰国後、熊本にきた留学生を支援するチューター活動に参加するなど積極的に国際交流をしています。1、2年生の時より専門性を持った授業が多く、漠然としていた半導体についても、実験の授業で触れることで少しずつ理解が深まってきたように感じます。

Q2. 一番刺激的な経験は？

A2. 昨年、情報融合学環でサイバーセキュリティに関する講演会があり、Googleの方が来られた縁で、この春Google東京オフィスに見学に行くことができました。半日社内を案内してもらい、オフィスの素晴らしい環境も目にして、将来こんな会社で働きたいと大きな刺激を受けました。

カリキュラム

Curriculum

1 年次では両コース共通の学環基盤科目を履修し、データサイエンスの基礎となる情報収集方法や統計学、数学などを学びます。2 年次より DS 総合コースと DS 半導体コースに別れ、DS 総合コースでは、人工知能や情報処理に関する科目を学修するとともに、経済、公共政策や学習教育手法など自身の興味に応じて文理横断的な知識を習得します。DS 半導体コースでは、データ分析に関する科目などの他、半導体や電気回路に関する科目を学修し、半導体デバイスを製造する各工程の品質管理や効率化等に関連する知識を習得します。

	1 年次		2 年次		
	前期	後期	前期	後期	
DS 総合コース	Data Science General course		評価・調査法	学習論ベーシック	
				教育論ベーシック	
			アグリマーケティング論 ※	経済学入門	
				アグリビジネス論 ※	
			離散数学Ⅱ		
			ウェブプログラミング基礎		
			デジタル信号処理Ⅰ		
学環 基盤科目	英語 A-1, A-2 英語 B-1, B-2, 英語 e		実用英語Ⅰ, Ⅱ		
	教養科目（必修科目「現代社会と半導体」を含む）				
	ICTリテラシー	DSリテラシー	離散数学Ⅰ	統計学Ⅱ	
	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅱ	統計学Ⅰ	統計学演習Ⅱ	
	微分積分Ⅰ	微分積分Ⅱ	統計学演習Ⅰ	統計学演習Ⅱ	
	DS 基盤数学演習Ⅰ	DS 基盤数学演習Ⅱ	データ分析Ⅰ	データ分析Ⅱ	
	集合と論理	確率・統計	プログラミング演習Ⅰ	プログラミング演習Ⅱ	
	DS 倫理	DS 入門 ※	アルゴリズム論Ⅰ	アルゴリズム論Ⅱ	
		プレゼンテーション実習		グローバル企業家論 ※	
		情報基礎	情報理論	コンピュータシステム論	
		物理化学基礎	DSゼミナールⅠ	DSゼミナールⅡ	
	DS 半導体コース	Data Science Semiconductor course		制御工学Ⅰ	論理回路
				半導体基礎	論理回路演習
				アナログ電子回路	
				電気回路Ⅰ	
				電気回路演習Ⅰ	
				電磁気学概論	

01 少人数教育による実践的な学び

入学定員 60 名で少人数教育を可能とし、演習や実習を多く取り入れることで実践的かつ専門的な学びを提供します。

02 文理融合型の教育

文理融合型の教育により、DX 時代に対応するための ICT 活用能力や数理・AI・データサイエンスに関する基盤を身に付け、製造業・金融業・教育業など各種産業分野で活躍できる人材を育成します。

両コース共通：必修	総合コース：必修	熊本県立大学提供科目 ※
両コース共通：選択	総合コース：選択（半導体コース：自由選択）	東海大学提供科目 ※
両コース共通：自由選択	半導体コース：必修	工学部提供科目
	半導体コース：自由選択	法学部提供科目
		医学部提供科目 ※

3 年次		4 年次	
前期	後期	前期	後期
教示と行動変容 インストラクショナル・デザイン基礎 行政学Ⅰ 法社会学Ⅰ 経済政策/国際経済論	デジタルマーケティング 行政学Ⅱ 計量経済学 ※ 医療画像認識 ※		
DSゼミナールⅢ	DSゼミナールⅣ		
HCI 設計論 デジタル信号処理Ⅱ コンピュータアーキテクチャ	データベースⅡ メディア情報処理 生体情報システム		
実用英語Ⅲ,Ⅳ 人工知能応用 ビジュアライゼーション DSアドバンスト実習 データベースⅠ コンピュータネットワーク アントレプレナーシップ入門 インターンシップ	人工知能理論 人工知能演習 最適化理論 情報セキュリティ サイバーセキュリティ入門 ビジネス倫理学 ※ アントレプレナーシップ	卒業研究 4年間の学修の集大成として、各研究室で実施されている研究テーマ等に関して卒業論文にまとめ、口頭発表します。 ※卒業研究着手要件として、3年次2月末までにTOEICスコア520点を取得する必要があります！ 経営戦略論 ※ 知的財産権 実践アントレプレナーシップチャレンジ	
電気回路Ⅱ 半導体工学 制御工学Ⅱ デジタル電子回路 安全工学 半導体実験Ⅰ	電気電子材料 先端半導体工学 EDA 概論 半導体製造技術 集積システム設計論 電気計測 半導体実験Ⅱ		

社会科学系科目群

情報科学系科目群

03

Point グローバル人材育成

1年次の共通教育である外国語科目の履修により、一定水準の基礎を身に付けた上で、2年次や3年次では専門用語などを含めた実用的な語学を学びます。さらに半導体関係企業などでのインターンシップではコミュニケーション能力および実践力を養成します。

04

Point PBL 演習

地元企業や自治体と連携して開講されるPBL（問題解決型学習）や、系統的に履修可能なアントレプレナーシップ科目を通じて、社会課題の把握／分析と課題解決能力を養います。

授業紹介

Class

データサイエンス倫理

1年次の専門科目

データサイエンスの知識や論理を学ぶ前に、その技術が社会に及ぼす影響を認識・理解し、倫理や自然環境などに考慮して行動する能力を身に付けます。また、日本語と英語のミックス授業のため、グループワークの問答が英語で行われる場合もあり、英語力を含めたコミュニケーション能力向上の第一歩となっています。

スポーツデータで学ぶ

情報融合学環におけるデータサイエンス教育では、取り扱うデータセットにスポーツ、特にサッカーデータを取り入れてきました。一般的なデータセットを用いてデータ解析を行う場合、学生はまずその背景知識を十分に理解する必要がありますが、これが従来のデータサイエンス教育における学習の障壁となっていました。そこで、扱うデータをスポーツデータにすることで、学生にとっても身近で理解しやすく、分析手法の妥当性判断も直感的に行うことができるようになります。学生のスポーツデータに対する関心も高く、データ分析スキルの習得やプログラミング技術の向上、データ可視化手法の学習など、様々な学習効果が期待されます。



文部科学大臣より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH) 応用基礎レベル」の認定を受けています。

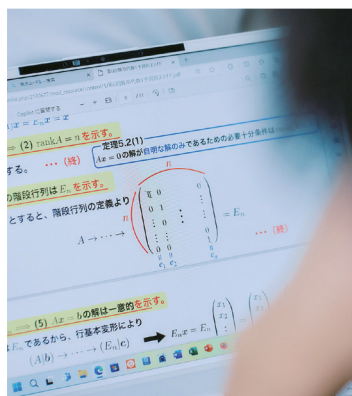
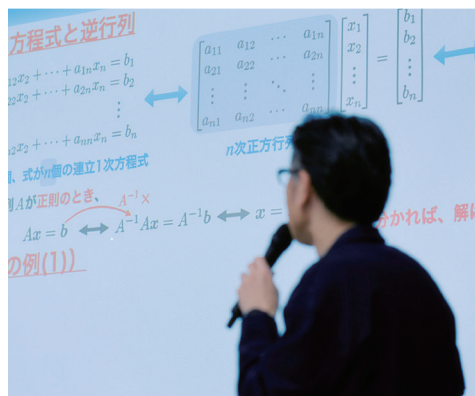
「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」とは、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIに関する、大学(短期大学含む)・高等専門学校の正規の課程の教育プログラムのうち、一定の要件を満たした優れた教育プログラムを文部科学大臣が認定／選定することによって、大学等が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押しする制度です。

本学部のMDASHの特徴としては、学部の卒業要件における必修科目で構成されていることから、**卒業者全員が現在の認定制度の最上位である応用基礎レベルを修了**することになります。

外部機関との連携による実践的教育(PBL演習)

今学んでいること、これから学ぶことが社会にどう使われているかを知る

〔科目〕 プレゼンテーション実習
DSゼミナール
半導体実験
デジタルマーケティング
アントレプレナーシップ



情報基礎

● 1年次の専門科目

データサイエンスを学ぶ土台として、コンピュータを「使いこなす」力を身につける授業です。キーボードを使い、文字で命令を打ち込んでコンピュータを操作する方法を学びます。プロのエンジニアが日常的に使っている操作スタイルです。コンピュータの心臓部であるOS(オペレーティングシステム)が、どうやってプログラムやファイルを管理しているのか、その仕組みも学びます。後半は、世界中の開発者が使う「Git」というツールを使って、チームでひとつのプロジェクトを作り上げる演習に挑戦します。プログラミングを本格的に学ぶ前の準備として、開発の現場で必須となるスキルを基礎から習得できます。

DSゼミナール I

● 2年次の専門科目

1年次に学んだ統計学の基礎を活かし、実践的なデータ分析スキルを育成する授業です。Pythonというプログラミング言語を使いながら、データサイエンスの手法を体系的に学びます。特徴は、チームでの協働学習と実際のデータを用いた問題解決型アプローチです。さまざまなデータを分析することで、理論と実践の両面から学習を深めます。データの処理技術、効果的なグラフ作成、基本的な分析モデルの構築など、情報から価値を引き出すスキルを段階的に身に付けていきます。この授業で身に付けたスキルは、将来どのような分野に進んでも役立つ重要な武器となります。

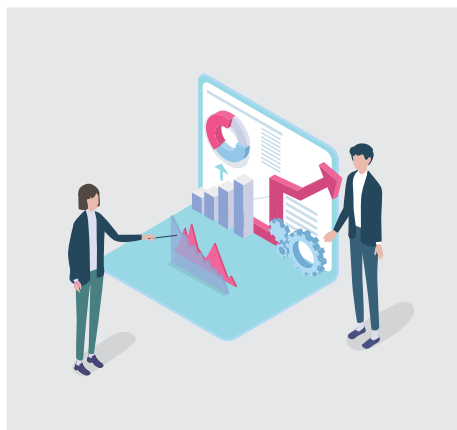
DSゼミナール II

● 2年次の専門科目

AIを活用した問題解決を体験する授業です。授業では、自動車や産業用ロボットをはじめとして多くの現場で応用されるエッジAIデバイスを用います。エッジAIデバイスとは、センサーやカメラなどのデバイスで集めたデータを、その場でAIがリアルタイムに処理するデバイスです。授業では、このエッジAIデバイスを利用する練習からスタートし、段階的にAIを活用する能力を身に付けます。応用として、社会や地域の課題を発見し、人や環境のデータを集め、エッジAIデバイスを用いた解決までを自分たちで考えます。社会や地域の現場でAIを活用する学びは、データサイエンティストとして未来をつくる第一歩です。

専門用語も多くて初めは戸惑うことも多いけど慣れてきた

AIで何ができるかを学ぶ内にますます面白くなってきた!



アルゴリズム論Ⅰ・Ⅱ/プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ

● 2年次の専門科目

2年次開講の学環基盤科目で、所属コースに関係なく2年生全員が履修できます。アルゴリズム論で理論を学び、プログラミング演習で実践することで、2つの授業が相互に補助しながら、確実に知識と技術が身に付くように授業が構成されています。また、プログラミング演習の講義は基本的に英語で進められます。日本語と英語のミックス授業よりもさらに高度な英語のみで、専門科目を行うのは学部としては大変珍しい取組です。各科目で設定されている目標に到達できない、修得すべき知識・技術が十分でない、という状況为了避免、英語での解説・指示の後に日本語で補足するほか、TA(ティーチング・アシスタント)によるサポート体制も整えています。

実用英語Ⅰ～Ⅳ

● 2年・3年次の専門科目

実用英語Ⅰ～Ⅳは、情報融合学環独自のカリキュラムとして設計されており、「学術英語の基礎技能」、「半導体・データサイエンス分野の学修・研究に必要な英語(EMI: English Medium Instruction)」、「グローバル人材に求められる国際感覚と教養」の3つを柱としています。実用英語Ⅰ・Ⅱ(2年次)では、学術英語の基礎とグローバルな視点を養うため幅広い教養を養いながら、データサイエンスに関連する英語に慣れていきます。実用英語Ⅲ・Ⅳ(3年次)では、それらの技能を応用しながら、専門分野を英語で理解・議論・発信し、研究活動につながる実践的な能力を身に付けます。英語力の向上と共に、専門性と国際性を兼ね備えた人材育成を目指しています。

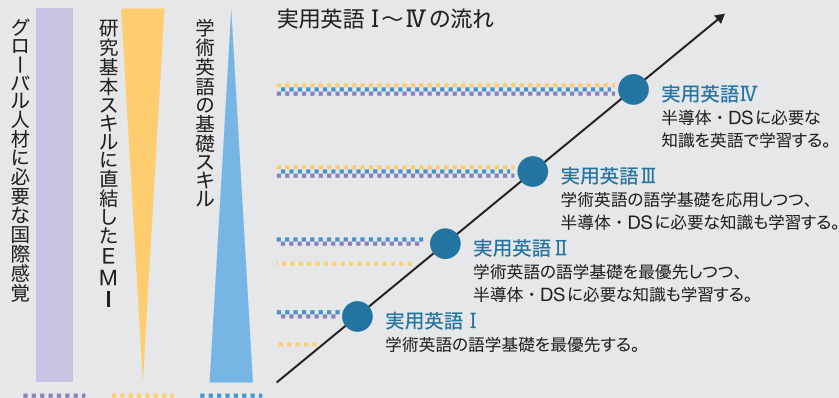
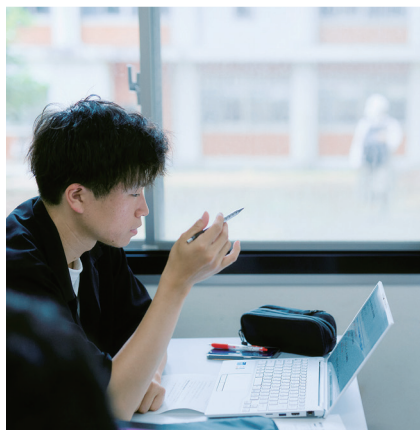
人工知能理論

● 3年次の専門科目

最新の機械学習だけでなく、ゲーム理論、ベイズ理論、エキスパートシステムなど、現代AIの基礎となる技術を学びます。さらに、画像や自然言語処理分野への適用例を通して、将来的な応用や研究に役立つ知識を身に付けます。



尼崎太樹 教授





ビジュアライゼーション

● 3年次の専門科目

情報技術の進歩と共にデータは爆発的に増加している一方で、人間の視覚認知能力には限界があります。適切な情報可視化(ビジュアライゼーション)は、氾濫するデータを有効に活用するための有効な解決策を提供する技術です。この授業では、人間の視覚生理、視覚認知に関する基礎知識、情報可視化技術に関する基本概念に加え、具体的な表現手法や設計論等を体系的に学びます。授業で得た知識を活用した情報可視化の演習も行います。これらの活動を通じて、可視化技法の最適な選択と設計ができるようになることを授業の到達目標としています。



戸田真志 教授

半導体実験 I・II

● DS半導体コース3年次の専門科目

イメージセンサや加速度センサなどの様々なセンサと小型コンピュータ(Raspberry Pi)を使いIoTにおけるデータ取得やAI処理を行います。また、他大学にはない取り組みとして、企業からいただいた半導体の製造データを題材とし、情報融合学環で学ぶデータサイエンスを実践し、現象予測や最適制御に取り組みます。本実験で学ぶデータサイエンスは、半導体製造に限らず、他の社会問題解決にも有効です。



瀬戸謙修 准教授

デジタルマーケティング

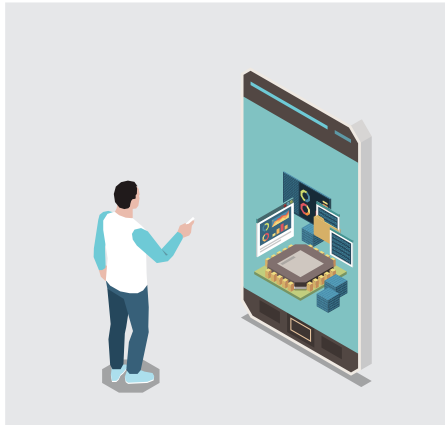
● DS総合コース3年次の専門科目

スマートフォンやSNS、ECプラットフォームの普及により、企業が扱う消費者データは量・種類ともに急増しています。しかし、多様なデータをただ蓄積するだけでは、効果的なマーケティング戦略は立案できません。本授業では、様々な外部企業から講師をお招きし、実際のデジタルマーケティング事例を通じ、データサイエンスの基礎知識やマーケティングの基本概念、消費者行動分析手法を学びます。これらの活動を通じて、特定の技術やデータが、どのような論理的プロセス(課題→仮説→検証)を経て社会実装され、具体的な成果(売上・集客・課題解決)に結びつくか

を、自らの言葉で論じることができるようになることを授業の到達目標としています。



喜多敏博 教授



サポート体制 | Support

ランチタイムセミナー

● 毎週水曜日の昼休み

毎週水曜日のお昼休みに、ランチタイムセミナーを開催しています。2年次以降の授業を担当する教員を中心に、研究内容やデータサイエンスとの関わりを、30分程度で分かりやすく解説します。お昼ご飯を食べながら気軽に様々な研究分野に触れることで、学生自身が新たな興味関心を発見したり、あるいは既存の興味関心をさらに深化させたりすることを狙っています。

数学・物理・化学のフォローアップ体制

● 不得意科目も手厚くサポート

特にDS半導体コースのカリキュラムでは、数学Ⅲや物理・化学の知識が求められます。そのため、高校までの知識を補い、大学の科目に接続するための授業を1年次の前期・後期に開講します。複数の教員・TA(ティーチング・アシスタント)による授業中のサポートの他、eラーニングによる補習教材、オフィスアワーによって基礎固めをしっかりと行い、2年次からの専門的な授業が始まった際、つまづくことがないようにサポートします。

授業中にサポートがあって
学びやすい



学びのモチベーションが
上がった



気になったことは自分でも
調べようと思った



米国領事館による英語教育のサポート

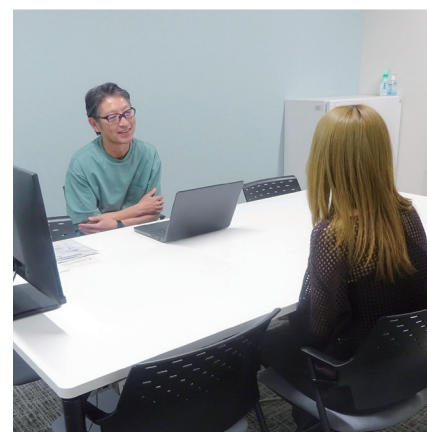
● 日本国内の大学では熊大が初の取組

在日米国大使館、在福岡米国領事館では、情報・半導体人材育成の強化を目的とし、米国国務省のEnglish Language Specialistプログラムによって、情報融合学環の英語教育をサポートします。情報融合学環の英語専任教員と協働して、英語教育のカリキュラムを検討し、また教員に対しても英語指導法を教授します。

担任・チューター制度

● きめ細かなサポートで学生を支援

1年次から3年次まで、学生3～5人に対してチューター教員一人が対応し、学生生活全般の相談にあたります。一方で、積極的な状況把握のため、全員に対して年に数回の面談を実施します。授業の出席状況や体調確認だけでなく、サークル・アルバイトなどの各種活動や、人間関係・金銭面のトラブルの把握など、その内容は多岐に渡ります。さらに何らかの支援が必要であれば、学内の関係窓口に繋げるなどの連携を行います。



企業等からのメッセージ | Message

Data
Science

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社

半導体製造

Semiconductor

私たちは、ソニーグループの半導体デバイスメーカーです。世界最先端のものづくりを行っています。私たちが手掛ける半導体製品には、ロジック、メモリ、アナログなど様々な種類がありますが、なかでもスマートフォンやデジタルカメラ、産業機器、自動車など幅広い領域で使用されているイメージセンサーは、圧倒的な技術力で世界をリードし、世界でトップの金額シェアを占めています。

半導体の製造工程は、厳しい品質管理のもとに成り立っています。例えば、製品の歩留まりや製造装置の生産性向上のために、微小なパーティクル・欠陥等を検出することや、装置異常を早期に発見することが重要となります。また、微細化に伴い、製造プロセスが複雑化し、性能を左右する装置パラメーターが増え続けており、プロセス構築の効率化も必要となっています。

こうした製品品質や装置故障、製造プロセスの効率化に対して、AI技術を駆使した統計解析・機械学習などの数理計算法を用いて、IoTで収集したあらゆるビッグデータから要因の分析、および予測や制御、分類のモデル構築を行うデータサイエンティストが必要です。合わせて、解析ツールの開発や構築したモデルを情報システムに実装する人材も求めています。



Data
Science

株式会社九州フィナンシャルグループ

地域価値共創

Co-creation of regional value

九州フィナンシャルグループは地方銀行2行（肥後銀行、鹿児島銀行）、証券会社、IT企業、地域商社、カード会社、リース会社等を傘下に持つ金融持ち株会社です。AI技術が劇的に進展し、社会のデジタル化が急速に加速する中で、人々の日々の生活やライフスタイル、企業活動や働き方などは大きく変化しています。こうした中、デジタルテクノロジーによるお客様・地域向けの新たな体験・サービス提供を通じて、『地域価値共創グループへの進化』を目指している九州フィナンシャルグループは、AI技術を活用した革新をさらに推進するため「AI統括室」を設置しました。AI統括室では、当社グループが保有する膨大な取引データをもとに、お客様の行動や将来を予測し、お客様への最適な提案につなげるといったマーケティング活動にも取り組んでいます。これには、有益なデータを集約し、企画立案やマーケティング等に活用できるプラットフォームの整備や統計的なデータを可視化するといったデータサイエンスの技術が不可欠です。九州フィナンシャルグループでは、データサイエンス等のスキルを活かし、金融の枠を超えた新たなイノベーションにより「地域価値共創」を牽引していく人材を求めています。



Data Science X データスタジアム株式会社 スポーツ Sports



データスタジアム株式会社は、スポーツ業界が抱えるさまざまな課題に対し、データ・IT・ノウハウを駆使して解決に取り組む企業です。データの取得・管理からコンテンツ制作、システム開発まで幅広く手がけ、「スポーツの力を、社会の熱量に」を掲げて、活力ある社会の実現に貢献しています。近年はデータサイエンスやAIの進展により、スポーツ分野におけるデータ活用の重要性が高まり、競技力向上だけでなく、教育やビジネスの現場でもその可能性が広がっています。

当社ではプロ野球、Jリーグ、Bリーグを中心に授業・研究向けのスポーツデータを販売しており、情報融合学環には2024年よりサッカーデータを提供しています。情報融合学環のデータサイエンス教育の一環として、当社のサッカーアナリストが「DSゼミナールⅡ」に登壇しました。講義ではプロの現場における実務や求められる知識、最新事例などを紹介しました。この講義の知見を踏まえ、学生が生成AIや実際のデータを用いて、Jリーグチームへ新たなサービスを提案・開発する発表会が開催されました。当社は本プロジェクトの講評と専門的なフィードバックを行い、実践的な学びを支援しました。

情報融合学環では、スポーツデータや生成AIを活用しながら、データ分析だけでなく、新しいサービスやアイデアづくりに挑戦できる機会もあります。こうした学びは、データを活用して社会やビジネスを支えるさまざまな仕事に繋がっています。実践的な経験を積みながら、自分の興味や将来の可能性を広げられることも、情報融合学環の魅力の一つだと思います。データサイエンスを学ぶ皆さんが、スポーツや社会に新しい価値を生み出す存在として活躍していくことを期待しています。



熊本大学発表会の様子(2026年1月)



データスタジアム内観

Data Science X 熊本県 熊本の発展 Development of Kumamoto



熊本県では、地域課題を解決し、熊本県の発展につなげていくため、社会全体のデジタル化、DXの取組を推進しています。令和4年度には、産学行政が連携して取り組むための体制として「くまもとDX推進コンソーシアム」を設立し、地域課題解決のためのDXの実装を目指し、イベント・セミナーや交流機会の創出などの活動を行っています。

さらに、DXの推進のためには、デジタル人材の育成も重要な課題の一つです。半導体産業を始め、様々な分野へ人材を輩出するため、企業や大学等と連携し、デジタル知識の習得のみならず、地域経済の発展、地域社会の課題解決など、自ら企画・実行できる人材の育成に取り組めます。取組を通じて、熊本、日本の将来を支える人材が育つことを期待しています。



熊本県からの講義の様子(2025年12月)



募集人員

一般選抜（前期日程）、学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）及び総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）により学生募集を行います。

学部等	コース※1	入学定員	募集人員				
			一般選抜		特別選抜		
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	
					一般枠	女子枠	私費外国人留学生入試
情報融合学環	DS 総合コース	60	45	0	7	8	若干名
	DS 半導体コース						

※1 コースについて／情報融合学環においては、学環一括で募集し、2年次進級時に希望するコースに配属されます。
（各コースの受入体制によっては、希望に沿えないこともあります。）

学校推薦型選抜Ⅱで女子枠を設ける意義

多様な人々で構成されている社会の課題解決を進めるためには、異なった価値観・経験・知識を持つ人々が様々な視座から異なる視点で課題と向き合い、解決に向けて力を合わせることが求められます。本学における令和8年度の入学者に占める女子学生の比率は、全体としては約45%ですが、理学部では約30%、工学部では約20%に留まっています。今回の特別選抜における女子枠の実施は、単に女子学生の増加を図るだけに留まるものではなく、これを契機として、これまで以上に男女が共に学びあい、様々な課題の解決に向けて切磋琢磨する環境が醸成されることで、本学全体においても多様なものの見方考え方を知り、理解することが広がることを期待するものです。



実施日程

大学入学共通テスト 試験日 令和9年1月16日(土)・17日(日)

選抜区分		学生募集要項発表	出願期間	個別学力検査等	合格者発表	入学手続期間
一般選抜	前期日程	11月下旬	1月25日(月) ～2月3日(水)	2月25日(木)	3月10日(水)	合格発表後 ～3月15日(月)
	後期日程	—	—	—	—	—
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)		11月下旬	1月18日(月) ～1月22日(金)	2月6日(土)	2月10日(水)	2月16日(火) ～2月17日(水)
総合型選抜Ⅰ	私費外国人 留学生入試 (大学入学共通 テストを課さない)	11月下旬	1月25日(月) ～2月3日(水)	2月25日(木)	3月10日(水)	合格発表後 ～3月18日(木)

選抜区分	大学入学共通テストの使用教科・科目名	個別学力検査等
一般選抜 前期日程 【文系型】	国/国語・・・1 地歴/地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探から1又は2 公民/公・倫、公・政経から1 数/数Ⅰ・数A・・・1 数Ⅱ・数B・数C・・・1 理/物基・化基・生基・地基、 物、化、生、地	数/数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 外/英Ⅰ・英Ⅱ・英Ⅲ・論表Ⅰ・ 論表Ⅱ・論表Ⅲ
学校推薦型 選抜Ⅱ 【文系型】	外/英、独、仏、中、韓から1 情/情報Ⅰ・・・1 ※地歴と公民から1科目以上、理科から1科目以上とし、これらの 教科の中から3科目受験すること。なお、「物基・化基・生基・地基」 については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。 また、「理科」においては、同一名称のつく科目(例：物理基礎と物理) を選択することはできない。 【6教科又は7教科8科目】	面接
一般選抜 前期日程 【理系型】	国/国語・・・1 地歴/地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探 公民/公・倫、公・政経 数/数Ⅰ・数A・・・1 数Ⅱ・数B・数C・・・1 理/物、化、生、地から2 外/英、独、仏、中、韓から1 情/情報Ⅰ・・・1	数/数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・ 数C 外/英Ⅰ・英Ⅱ・英Ⅲ・論表Ⅰ・ 論表Ⅱ・論表Ⅲ
学校推薦型 選抜Ⅱ 【理系型】	数Ⅱ・数B・数C・・・1 理/物、化、生、地から2 外/英、独、仏、中、韓から1 情/情報Ⅰ・・・1 【6教科8科目】	面接



最新の情報及び詳細は
入学者選抜要項等をご確認ください。

入試関連情報サイト



受験情報
ポータルサイト
熊大への扉



テレメール
サイト



熊本大学
情報融合学環
LINE 公式
アカウント



教員紹介 | Professors

情報融合学環の様々な知識・専門分野を持つ教員を紹介します。



AOYAGI
Masahiro

青柳 昌宏 卓越教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 先端電子実装
- 3次元積層集積回路
- 極低温エレクトロニクス



AMAGASAKI
Motoki

尼崎 太樹 教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- 深層学習
- グラフニューラルネットワーク
- AIコンピューティング
- 集積回路設計とCADアルゴリズム
- データサイエンス



ARITSUGI
Masayoshi

有次 正義 教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- データ工学
- ビッグデータ
- 人工知能
- データサイエンス
- クラウドコンピューティング



IIDA
Masahiro

飯田 全広 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 計算機システム
- インフォマティクス
- LSI設計技術
- プログラマブルロジックデバイス
- FPGA



IWASA
Manabu

岩佐 学 准教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- 自然科学一般
- 応用数学
- 統計数学



UOZUMI
Hirohisa

魚住 弘久 教授
大学院人文社会科学部(法学系)

- 行政学
- 地方自治
- 行政文書管理



OHKAWA
Takeshi

大川 猛 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 情報通信
- 計算機システム



OSANA
Yasunori

長名 保範 准教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 情報通信
- 計算機システム
- 高性能計算



KITA
Toshihiro

喜多 敏博 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 学習支援システム
- 教育工学
- eラーニング
- AI技術応用
- メディアアート



KIYAMA
Masato

木山 真人 助教
大学院先端科学研究部(工学系)

- 情報通信
- ソフトウェア
- コンパイラ



KUSANO
Shogo

草野 彰吾 助教
大学院先端科学研究部(工学系)

- 数理統計学
- 確率過程の統計的推測
- 多変量解析



KUBOTA
Shinichiro

久保田 真一郎 准教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 教育工学
- ラーニングアナリティクス
- eラーニング
- eポートフォリオ



GODA
Yoshiko

合田 美子 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 教育工学
- 英語教育
- インストラクショナルデザイン
- 学習支援システム
- アセスメントとフィードバック



SHIGA
Kyoko

志賀 恭子 特任助教
半導体・デジタル研究教育機構

- 異文化関係論
- 英語教育
- 移民研究
- アメリカ研究



SHIROMOTO
Keisuke

城本 啓介 教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- 符号理論
- 暗号理論
- 組合せ論
- 離散数学



SETO
Kenshu

瀬戸 謙修 准教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 情報通信
- 計算機システム



THANDA
Shwe

タンダ シュイ 助教
大学院先端科学研究部(工学系)

- ビッグデータ
- クラウドコンピューティング
- エッジコンピューティング



CHIBA
Shuya

千葉 周也 教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- グラフ理論
- 組合せ論
- 離散数学



TODA
Masashi

戸田 真志 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- 画像計測・認識
- メディア情報処理
- 教育情報システム
- 生体計測
- ウェアラブルコンピューティング



NAKAURA
Takeshi

中浦 猛 教授
半導体・デジタル研究教育機構

- ライフサイエンス
- 放射線科学



NOHARA
Yasunobu

野原 康伸 准教授
大学院先端科学研究部(工学系)

- データサイエンス
- 機械学習
- 医療情報学



MAJUMDAR
Rwitajit

マジュンダール リトジット 准教授

半導体・デジタル研究教育機構

- 学習支援システム
- ラーニングアナリティクス
- 情報デザイン
- 知能情報学



MIURA
Oki

三浦 沖 特任講師

研究開発戦略本部 半導体リスキリングセンター

- 自然科学一般
- 磁性、超伝導、強相関係



MIGITA
Masahiro

右田 雅裕 助教

半導体・デジタル研究教育機構

- 計算機科学
- アルゴリズム



MUSASHI
Yasuo

武藏 泰雄 教授

半導体・デジタル研究教育機構

- 機械学習モデル
- 量子機械学習モデル
- 統計解析
- 不正侵入検知システム
- 情報セキュリティ
- 計算機セキュリティ



MERY
Diana

メリー ディアナ 特任助教

半導体・デジタル研究教育機構

- ディープニューラルネットワーク
- エッジサイト
- 畳み込みニューラルネットワーク



MENDONÇA
Israel

メンドンサ イスラエル 准教授

半導体・デジタル研究教育機構

- テキストマイニング
- 並列分散処理
- 自然言語処理



YOSHIOKA
Hidemi

吉岡 英美 教授

大学院人文社会科学部(法学系)

- 経済学
- 国際経済・韓国経済
- 半導体産業



よくある質問 | FAQ

Q コース分けはどのようにして行われますか？

1年次の年度末に希望調査を行い、2年次の進級時に1年次の成績などを考慮して配属するコースを決定します。

Q 他大学のデータサイエンス系学部との違い、熊本大学の特色は何ですか？

文系型、理系型の入試を実施すること、データサイエンスと半導体を組み合わせた学びを提供すること、工学部・法学部・医学部・熊本県立大学・東海大学など、学内外の多様な授業を受けられることです。

Q 「学部」ではなく、「学環」と呼ばれるのはなぜですか。

学部等連係課程制度を活用しているため、「学環」という名称を使用していますが、従来の学部と同じものと捉えていただいてかまいません。

Q 文系型・理系型ごとに定員を設けていますか。

文系型及び理系型の全受験者を総合得点順に並べ、得点上位者から順次、合格者を決定します。

Q 理系クラスの学生が文系型を受験する、またはその逆は可能ですか？

大学入学共通テストで必要な科目を受験していれば可能です。

Q どのような資格が取得できますか？

各コースとも、数学の中学校教員免許、数学及び情報の高校教員免許が取得できます。

Q 入学までに勉強しておいた方が 良いことはありますか？

4年次卒業研究の着手要件としてTOEICスコアを設けるので、英語の勉強は継続してください。

Q キャンパスはどこですか？

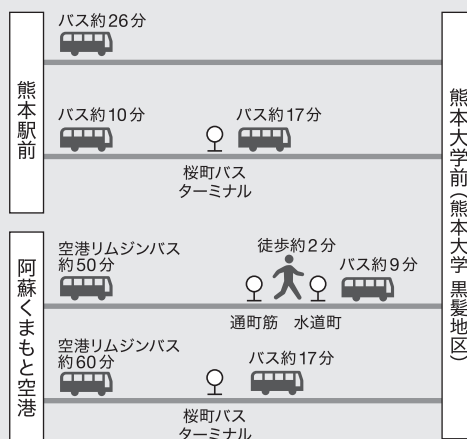
基本的には黒髪南地区で授業を受けます。教養科目など一部の科目は黒髪北地区で受講します。

アクセスマップ | Access Map

交通アクセスの情報はここから➡



【凡例】 九州新幹線 JR バス（桜町バスターミナルからの路線） 市電



【熊本大学黒髪地区まで】

- 熊本駅から 5.4km
- 桜町バスターミナルから 3.4km
- 熊本インターから 6.4km
- 学生寄宿舎から 2.0km

DATA SCIENCE

